



特定医療法人

鵬友会 ニュースレター

第6号

発行 / 2006年10月15日
特定医療法人 鵬友会
発行責任者 /
事務局長 池島 守

阿久和鳳荘 施設長
湘南泉病院 副院長

のご挨拶

～ 選ばれる施設をめざして ～

末盛 彰一



阿久和鳳荘は、平成6年5月16日、横浜市内第4番目の介護老人保健施設（以下「老健」）として設立されました。いわゆる老舗であります。入所定員64名、通所リハビリテーション定員10名で運営しております。横浜市内の老健の中では比較的規模の小さな施設ですが、かえって家庭的で明るい雰囲気をつくり、ご利用者様一人ひとりの能力に応じたきめ細かい介護ができていますと自負しております。

今年で阿久和鳳荘も設立から、13年を数えることができました。職員全体のがんばりもさることながら、阿久和鳳荘の運営にあたってこられた鵬友会の方々の努力の賜物と感謝しております。一方、この間に介護保険法の制定、さらには改正により、鳳荘を取り巻く環境も大きく変化してきました。特に昨年10月の改正では、食費・居住費の保険からの引き離しが行なわれ、利用者様にとって、運営する側にとっても非常に厳しい内容となりました。現在、横浜市内には64の老健と100に近い特別養護老人ホームがあります。本格的な超高齢社会の到来を迎え、需要はますます増えるにしても、介護施設に対する利用者様の期待と評価はますます厳しくなると推測されます。

将来も鳳荘が地域に根ざし、信頼される、選択される施設であり続けるためには、たゆまぬ改革・改善の努力が必要と考えます。サービス内容の一つ一つ、言葉遣い、態度など一言でサービスといっても中身は幅広いものです。それを再確認することにより、さらにレベルアップを図っていく所存です。また、急性期病院である湘南泉病院が隣接している利便性を利用し、インスリン療法の糖尿病患者、経管栄養利用者など医療的要素の強い高齢者の受け入れも積極的におこないたいと考えています。

今後、介護施設はよりオープンな要素を持つ必要があると思います。現在、鳳荘では看護専門学校生、介護福祉専門学校生の実習を受け入れています。歌謡クラブのボランティア活動もお願いしています。さらに積極的にボランティア活動の受け入れを行なうとともに、地域住民への介護情報の発信基地を目指したいと考えています。夢は大きく頑張りますので、これからも引き続きよろしく願い申し上げます。

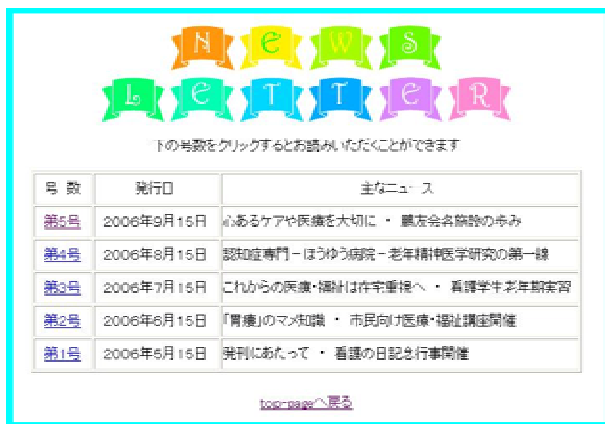
「鵬友会 ニュースレター」 ホームページに掲載しました！

鵬友会ニュースレター6号をお届けいたします。皆様のご感想はいかがですか？
毎月発行しておりますが、ホームページに掲載することになりましたので、是非ご覧下さい。

鵬友会ホームページ アドレス <http://www.goodream.co.jp/hoyukai/>

上記、アドレスを開くと下記画面になります。
「ニュースレター」をクリックします。

下記のように「ニュースレター」が出ます。第1号～5号をクリックすると見れます。



第2回 鵬友会 市民向け医療・福祉講座 開催



平成18年10月13日(金)14時からほうゆう病院の会議室にて、第2回市民向け医療・福祉講座
テーマ「認知症とはどんな病気」を開催いたしました。

出席者は、ご家族や、施設の職員の方々、町内会の方々、計74名の参加人数で会場が溢れる状況でした。
相澤局長よりほうゆう病院の概要説明があり、講師藤澤院長より「認知症」について、対応方法・相談窓口・相談時の必要事項等の講義がありました。

看護部からは、講師 片瀬副看護部長より事例紹介がありました。講義に出席し、藤澤院長の「認知症の患者様は言葉は理解してくださらないと思うけど、ハートの問題ですので気持ちは通じます」というお言葉がとても印象に残りました。

最後に地域の方々へ永澤看護統括部長より鵬友会施設の紹介があり、今回のテーマ「認知症」について、ご理解いただけたのではないかと思います。少しでも皆様のお役に立てるように今後も取り組んでいきますので、ご支援お願い致します。

